



平成 20 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社グローバルダイニング  
代表者名 代表執行役社長 長谷川 耕造  
(コード番号 7625 東証第二部)  
問 合 せ 先 財務経理責任者 真 木 到  
( TEL . 03 - 5469 - 3223 )

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績及び為替の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 30 日の決算発表時に公表した平成 20 年 12 月期 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日) 中間期及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 20 年 12 月期中間期業績予想の修正 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 20 年 4 月 30 日 発表)	7,930	179	108	79
今 回 修 正 予 想 ( B )	8,035	176	5	126
増 減 額 ( B - A )	104	3	114	46
増 減 率 ( % )	1.3	1.7		
前期実績 (平成 19 年 6 月期)	8,333	230	249	38

(2) 単体

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 20 年 4 月 30 日 発表)	7,519	236	232	116
今 回 修 正 予 想 ( B )	7,664	276	269	576
増 減 額 ( B - A )	145	39	36	692
増 減 率 ( % )	1.9	16.7	15.6	
前期実績 (平成 19 年 6 月中間期)	7,871	368	369	177

2. 平成 20 年 12 月期通期業績予想の修正（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

(1) 連結 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 4 月 30 日 発表)	16,473	543	232	78
今回修正予想 (B)	16,578	540	346	7
増減額 (B - A)	104	3	114	71
増減率 (%)	0.6	0.6	49.2	90.8
前期実績 (平成 19 年 12 月期)	16,934	473	356	328

(2) 単体 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 4 月 30 日 発表)	15,636	650	648	324
今回修正予想 (B)	15,781	690	684	368
増減額 (B - A)	145	39	36	692
増減率 (%)	0.9	6.1	5.6	
前期実績 (平成 19 年 12 月期)	16,080	743	745	32

3. 特別損失の計上について

当社の連結子会社であるグローバルダイニング、インク・オブ カリフォルニアに対する出資について、同社の損益状況及び今後の見通しなどを勘案し、特別損失として関係会社投資損失引当金繰入額 7 億 14 百万円を計上いたします。

この引当金は、個別財務諸表上の関係会社株式について、連結子会社の財政状態に応じて計上する評価性引当金であり、連結財務諸表においては、同社の財政状態が取り込まれて反映されますので、資本連結手続きに際しては全額消去されることとなります。

4. 修正の理由

当中間期の単体における業績予想は、上記特別損失の計上により当期純利益が前回発表時（平成 20 年 4 月 30 日）に公表いたしました業績予想を下回ることが見込まれるため、業績予想を修正いたします。

連結における業績予想については、昨年のサブプライムローン問題に端を発した国際的な金融不安により、第 1 四半期において想定為替レート 100.19 円を見込んでおりました。しかし想定を上回る円安へと移行したため、連結子会社において、親会社からの円貨借入金にかかる為替差損の縮小されることが見込まれます。これにより経常利益及び当期純利益の業績予想を修正いたします。

また、通期の業績予想につきましても、中間期の修正を考慮し、連結及び単体の業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上